

# EdgeTech+ 2024

11月20日(水) - 22日(金)

10:00-17:00  
(21日[木]は18:00まで)

会場：パシフィコ横浜 展示ホール/アネックスホール

<https://www.jasa.or.jp/expo/>

エッジテックプラス



テーマ

## AI/生成AIで加速する事業変革と産業DX

- ✓ ビジネスにおける生成AIの有用性とエッジデバイスの役割
- ✓ 生成AIを取り巻く状況と今後の政策展望
- ✓ SDV時代における車載ソフトウェア開発のあり方とは？

西脇 資哲氏  
日本マイクロソフト(株)

井崎 武士氏  
エヌビディア(同)

坂村 健氏  
INIAD cHUB機構長(東洋大学)

森實 裕司氏  
アマゾンウェブサービスジャパン(同)

田丸 健三郎氏  
日本マイクロソフト(株)

足立 智彦氏  
マツダ(株)

柴田 英司氏  
(株)SUBARU

山内 進一郎氏  
日産自動車(株)

山口 祐氏  
チューリング(株)

協会主催の技術総合展「EdgeTech+2024」が11月20日(水)から3日間、パシフィコ横浜で開催されます。“エッジ”を中心に包括したテーマから注目の技術、先進の応用分野と<プラス>の新技術、分野を厳選し、最新ソリューションと多彩なカンファレンスでホットな情報を網羅し発信いたします。

さらに充実しました！

- ✓ 展示会規模を拡大 国内外から多くの注目企業が出展
- ✓ 時代が求めるテーマにもフォーカス 展示・セミナーで網羅  
生成AI / オートモーティブ ソフトウェア / サイバーセキュリティ
- ✓ 自動車メーカーによる新型車展示

展示会

EdgeTech+  
2024

カンファレンス

特別企画

Automotive  
Software Expo

オートモーティブ ソフトウェア エキスポ

Vision AI Expo

画像認識 AI EXPO 2024



## 基調講演

エッジテクノロジーの最前線をキャッチ  
アップし展望するキーノート

## LLMからSLMへ、広がる生成AIの活用

日本マイクロソフト(株) 田丸 健三郎氏

デジタル田園都市国家構想を実現する  
OTサイバーセキュリティ

東京大学大学院 江崎 浩氏

## 生成AIを取り巻く状況と今後の政策展望

経済産業省 渡辺 琢也氏

## 生成AIの活用を促進するNVIDIAのソリューション

エヌビディア(同) 井崎 武士氏

## 生成AI時代のクラウド活用(仮)

アマゾン ウェブ サービス ジャパン(同) 森實 裕司氏

生成AIの現状とエッジデバイスの位置づけ  
— 考え方と実装の変革へ

(株)ソラコム 松下 享平氏

進化が止まらない生成AIの最新状況、  
見えてきた成果と課題

日本マイクロソフト(株) 西脇 資哲氏

## 生成系AIが革新する組み込みシステム開発の未来

INIAD cHUB機構長 坂村 健氏

## Vision AI Expo

画像認識 AI EXPO 2024

DX社会の実現やさらなるイノベーション  
の発展に向けて画像認識・解析AI技術が  
集結

## 製造業における生成AIの活用

～ カメラ映像からの危険判別

アマゾン ウェブ サービス ジャパン(同) 山本 直志氏

## 画像認識AIによる導入事例と開発事例のご案内

(株)トリプルアイズ 片淵 博哉氏

## 映像認識AI×LLM

～ 人物行動理解: 見えるものから見えないもの、そして生成へ～  
NEC 劉 健全氏認識AI・生成AI・IoTで実現する  
次世代 業務自動化の最前線～ マルチモーダルな活用で業務効率を劇的に向上  
アステリア(株) 阿部 雄大氏自動車開発でのソフトウェア技術に  
フォーカスしたセッション

## モビリティDX戦略について

経済産業省 伊藤 建氏

次世代自動車サイバーセキュリティの最前線:  
最新動向とVicOneの革新的アプローチ

VicOne(株) 原 聖樹氏

SDV時代に向けたMAZDAの生き残り戦略  
”MBDとAIのシナジー”

マツダ(株) 足立 智彦氏

生成AIが変える自動運転:  
現実世界を捉えるAIモデルの最新技術

チューリング(株) 山口 祐氏

## 近日公開

名古屋大学 高田 広章氏

クルマのデジタル化が進む時代における  
車載ソフトウェア開発のあり方(仮)

(株)SUBARU 柴田 英司氏

SDVとは何か。目指すべきSDV像と  
課題に対する向き合い方

PwCコンサルティング(同) 糸田 周平氏

PwCコンサルティング(同) 渡邊 伸一郎氏

次世代自動車システムのためのソフトウェア変革  
- セキュアなソフトウェア開発

ブラック・ダック・ソフトウェア(同) 岡 デニス 健五氏

AIとコネクテッドカーが変える自動車の未来:  
SDV時代のソフトウェアファーストによる  
新たな価値創造

日産自動車(株) 山内 進一郎氏

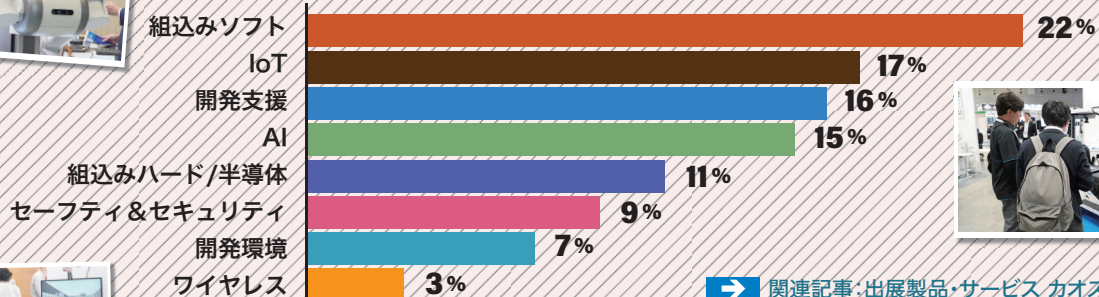
顧客価値(CX)を高めるSDVのユースケース  
モータージャーナリスト / 神奈川工科大学 清水 和夫氏自動車開発の未来:  
ソフトウェアデファインドビークル(SDV)を  
加速するコラボレーション(仮)

ETAS GmbH Christian Uebber氏

ボッシュ(株) 喜家村 裕宣氏

生成AI時代をリードするための高効率な  
LLM開発・運用環境の構築～ GPU利用の最適化 Fixstars K4  
(株)フィックスターズ 相澤 和宏氏

## 出展製品・サービスのジャンル別割合



➡ 関連記事: 出展製品・サービス カオスマップ(P.6-P.7)

他、展示会場内特設会場にてセミナーを開催



## JASAセミナー

JASA技術本部による最新の研究成果、WGの活動紹介や、人材育成、国際交流に関する事業からテーマを厳選して実施します。

### 生成AI人材活用パネルディスカッション

～生成AIの流れに組み込みソフトウェア開発を生業とする企業は  
どう対応すべきか～

人材育成事業本部

### 【JASAグローバルフォーラム】 グローバルサウスのリーダー インドの動向と 日本の取り組み

交流推進本部 国際交流委員会

### サイバーセキュリティ動向 SBOMの活用

～委員会の取組みとSBOM動向の紹介～

組み込みシステムセキュリティ委員会

### ドローンシミュレータ利活用

～箱庭使って、ドローンでデジタルツイン的な体験～

コモングラウンド委員会 ドローンWG

### Society5.0を実現するためのエッジテクノロジーの役割

～コモングラウンド委員会の取組みと自律化工場のPoC事例紹介～

コモングラウンド委員会

### 笑う門には福来る 画像認証による笑顔の認識技術

コモングラウンド委員会 スマートライフWG

### アジャイル成功への道

～品質保証部のアジャイル実践・ダークアジャイルの事例から学ぶ～

応用技術調査委員会 アジャイル研究WG

### 組込AIの現状の紹介と、 組込みでの生成AIの可能性について

応用技術調査委員会 AI研究WG

### OpenELが変える組込みシステム開発

プラットフォーム構築委員会 OpenEL 活用WG

### JASA版カスタムチップ作りへの挑戦と RISC-V関連団体との協創

ハードウェア委員会 RISC-V WG

### 「Engineering a Safer World(STAMP)」 翻訳本の紹介とクレーン安全設計の応用事例

安全性向上委員会

## 特別企画 / 併催イベント

### オープンイノベーションサミット横浜

11/20(水)

横浜市に研究開発拠点を置く企業やスタートアップ、海外企業などによる共同研究パートナー募集セミナー

### 交流祭典2024 in 関東

11/20(水)

業界の魅力や若手技術者の奮闘記などを中心に多角的に紹介するJASA主催の特別企画



### EdgeTech+ AWARD

11/21(木)

組み込み業界の発展と国内産業の競争力向上に寄与する優れた製品・サービスを表彰。21日(木)に受賞企業プレゼンテーション実施



### EdgeTech+ フェスタ

11/21(木)

出展社がドリンクを用意して来場者をお出迎え。グラス片手に有意義な情報交流を演出



### チップミュージアム mini++ (常設)

歴史的な半導体チップを展示するチップミュージアム mini++がさらにパワーアップ。20日・21日にスペシャルピッチ実施



### ETロボコンチャンピオンシップ大会 [競技会] 11/21(木)

全国地区大会から優秀チームが熱戦を展開。20日テスト走行、22日ワークショップも実施 [P.4に関連記事](#)



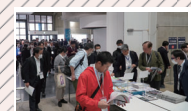
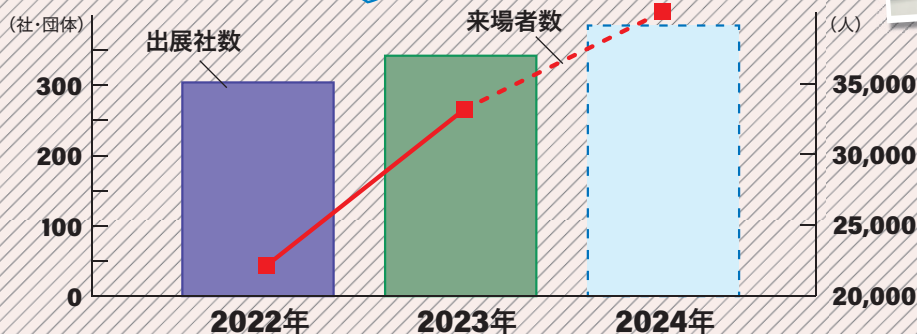
### 仮説検証ブートキャンプ

11/22(金)

変化に強いビジネスパーソンへ、人材育成プロジェクト。フィールドワークの成果をプレゼンテーション形式で実施

[P.5に関連記事](#)

## 出展社数・来場者数の推移





# ETロボコン2024

チャンピオンシップ大会 パシフィコ横浜

テスト走行 ▶ 競技会 ▶ モデリングワークショップ  
11/20(水) 11/21(木) 11/22(金) エントリークラス大会 オンライン 10/20(日)

ETロボコンは5年後、10年後に世界をリードするエンジニアの育成を目指し、若手および初級エンジニア向けに分析・設計・モデリング開発にチャレンジする機会を提供しています。業務での開発は、ほとんどの場合がすでに形になっているものに手を加えるだけの「保守作業」の場合が多いのですが、ETロボコンは一から設計し、実装、テストという開発工程の一連の流れを約半年で行います。

2002年から継続して開催し、今年で23年目となる本大会は、全国199チームが参加し、11月にパシフィコ横浜で行われるチャンピオンシップ大会には全国から選出されたチームが参加します。

## 年間スケジュール

5～6月 技術教育	設計図の記載方法や競技に必要な内容を学びます。
7～9月 競技練習・設計図提出	本番コースでの試走や設計図を作成します。
9～10月 地区大会	チャンピオンシップ大会進出チームは約40チームと狭き門。
11月 チャンピオンシップ大会	全国の猛者から真の王者を決めます。

## スキルに合わせた3クラス

### ・エントリークラス（シミュレータ競技会のみ）

これからソフトウェア開発に携わる人に、具体的な題材を通して開発体験を提供します。

### ・プライマリークラス

組込みシステム開発・学習の初級者を対象とし、モデリングを用いたシステム開発技術の基礎を学びチャレンジする機会を提供します。

## 学業や仕事だけでは得ることができない「成功体験」を体感

### ETロボコンスキルマップ

取得スキル			
参加クラス	パーソナル	マネージメント	ソフトウェアスキル
応用スキル アドバンス クラス	コミュニケーション★	プロジェクトマネジメント★	プログラミング★
	チームビルディング★		設計技法(モデリング)★
基礎スキル プライマリー クラス	コミュニケーション■	プロジェクトマネジメント■	プログラミング■
	チームビルディング■		設計技法(モデリング)■
入門スキル エントリー クラス	コミュニケーション●	プロジェクトマネジメント●	プログラミング●
	チームビルディング●		設計技法(モデリング)●

凡例：●レベル1 ■レベル2 ★レベル3

## ・アドバンストクラス

プライマリークラスの経験者及び組込みシステム開発における応用学習者を対象とし、より高度な開発課題へモデリング技術を応用できるスキルを磨く機会を提供します。

## 教育機関参加チームとスポンサー企業による産学連携

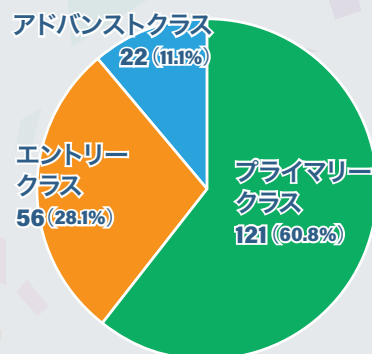
ETロボコンは主に高校生以上を対象としており、教育機関と企業チームの割合はおおよそ半々です。昨年は3チームから始まったこの活動ですが、今年は8チームが産学連携で出場しています。一緒に活動してきた成果が見どころです。

## 新しい人材育成のカタチへ

実際のビジネスでは、答えがない問題にどのように立ち向かう人材が求められます。人材育成も同様です。組込みITエンジニアにとって必要不可欠な「テクニカルスキル」と「コミュニケーションスキル」を、ETロボコンを通じた体験型の活動で育成しませんか？この活動は、組織と個人の両方に役立つ人材育成のコンテンツとして、多くの方からご賛同を頂いております。

## 参加チーム数：199チーム（全国10地区）

企業：110  
大学：30 / 短大：4  
専門：28 / 高専：7  
高校：14  
個人：6



参加者、スポンサーにご興味がある方は  
こちらまで！



## VUCAワールドを制するための短期集中トレーニング「仮説検証ブートキャンプ」 第1回フィールドワーク・ワークショップを開催！

今年度より、スタートした組込みシステム技術領域における人材育成プロジェクト「仮説検証ブートキャンプ (<https://hv-bootcamp.biz/>)」の今年度のプログラムが予定通り進行しています。

まず、最初に「仮説検証」の知識と手法をオンライン教材で学ぶことからスタート。テキスト、および、解説動画を全参加者（17社59名）が視聴、見事！全員が検定試験（50分）に合格。次ステップ「実践形式フィールドワーク・ワークショップ」の解説動画5本も視聴し、第1回の開催会場（9月24日）に参加者を含む80名近い関係者が集いました。



### 実践形式フィールドワーク・ワークショップ： DAY1（全3回の初回）

本プログラム監修者の篠原稔和氏（NPO人間中心設計推進機構理事長）からの解説に続き、プログラム進行サポーター（全15名）が紹介されました。皆さんが仮説検証スキルのベースとなる「人間中心デザイン」の専門家資格を有しています。全10チーム（1チーム5～6名）に対しサポーター1～2名ずつが担当、参加者の議論を見守る役割を担います。

最初に事前に用意された3つの課題が提示され、各チームでの議論を経た後、チーム間投票によって統一課題【災害発生時には、デジタル嫌いまたは苦手な人にITでどんな価値を提供できるか？】が設定されました。

課題が決まると、いよいよ、仮説検証の取り組みの始まりです。【仮説1】：利用者やターゲットユーザーの人物像（ペルソナ）を想定し、【検証1】：利用者やターゲットユーザーの実際の想いを確認して検証するためのインタビュー術を会得するため、各チーム内でさらに2班に分かれ、インタビュー役、利用者役、観察役をそれぞれ1回ずつ体験します。この体験を通じて、自身が利用者になりきる感覚も養い、見直しを重ねることで人物像が明確になります。インタビュースキルを高め、利用者の言葉を傾聴できるようになることで、商品やサービスに対する本

質的な要求や潜在的な課題を探りだす確率が高まっていくのです。

参加者の眼差しは真剣そのものであり、各チームから時折、歓声も上がり、初日の緊張も和らぎ、参加者の前向きな参加意識に支えられて、DAY1ワークショップを終えました。

### 今後に向けて

実践形式フィールドワーク・ワークショップ：DAY2（10月22日）、DAY3（11月5日）において【仮説2】【検証2】を重ね、そして最終パフォーマンスの場である11月22日の「企画プレゼンテーション」（EdgeTech+2024 セミナー会場 ROOM E、13時15分～16時45分）に臨みます。是非、59名の「仮説検証実務者」誕生の瞬間を応援頂きたく、皆さまの会場へのお越しをお待ちいたします。

一般社団法人組込みシステム技術協会

副会長 渡辺 博之

特定非営利活動法人人間中心設計推進機構

理事長 篠原 稔和

一般社団法人人間中心社会共創機構

理事長 鱗原 晴彦

副理事長 田丸喜一郎

**AI**

**組み込みハード/半導体デバイス**

**JASA会員**

**開発環境**

**JASA会員**



## IoT

